

令和5年度 加賀市市民アンケート
結果概要

令和6年3月

加 賀 市

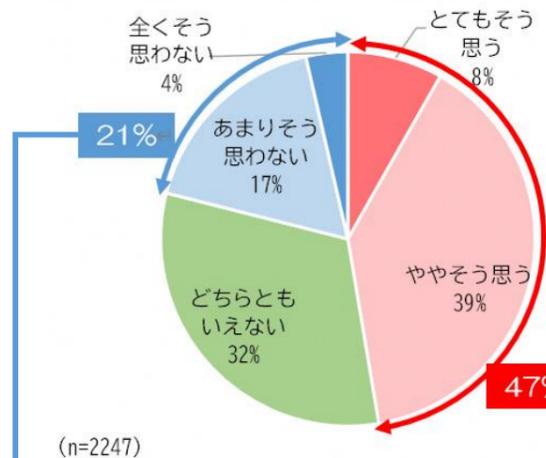
1. 調査概要

- 調査期間：令和5年12月22日～令和6年1月15日
- 調査方法：広報かがでの依頼（調査票の添付）・回収、およびWeb（オンライン）での回答
- 配布数：27,000部（広報かが送付分）
- 回収数：2,279票（郵送1,042票、Web1,237票）

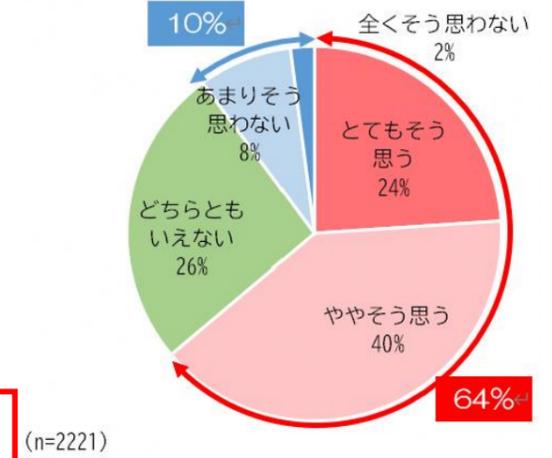
2. 定住意向

- ◆「加賀市は住みよい」との評価が47%、「今後も加賀に住み続けたい」との意向が64%と、否定的な意見を大きく上回っており、加賀市への定住意向の強さがうかがえる。
- ◆住みにくさの原因として、交通の便の悪さ、商業施設の少なさが挙げられている。

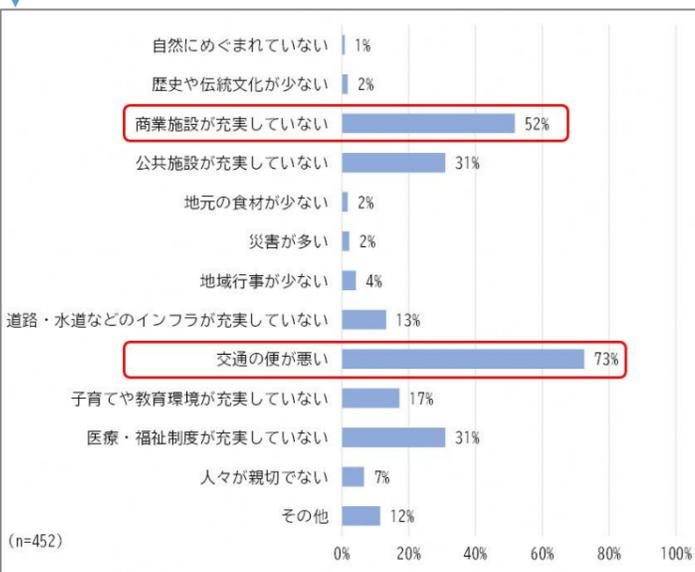
【加賀市は住みよいまちか(問2-2)】



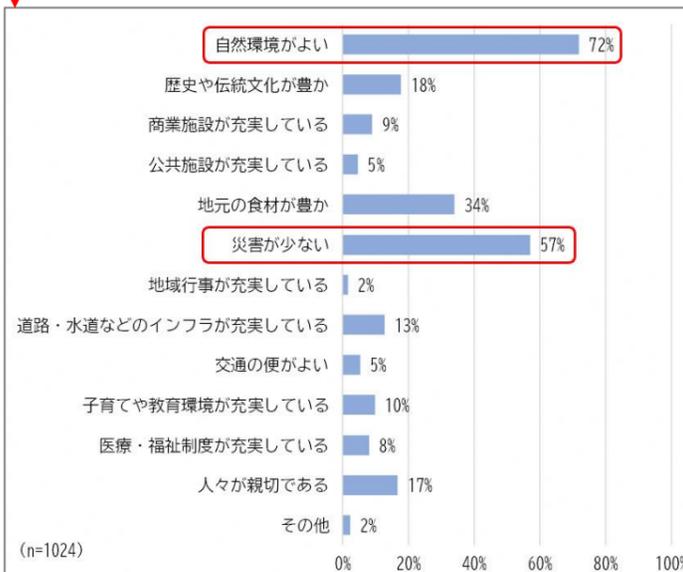
【今後も加賀市に住み続けたいか(問2-5)】



【住みにくいとを感じる理由(問2-4)】



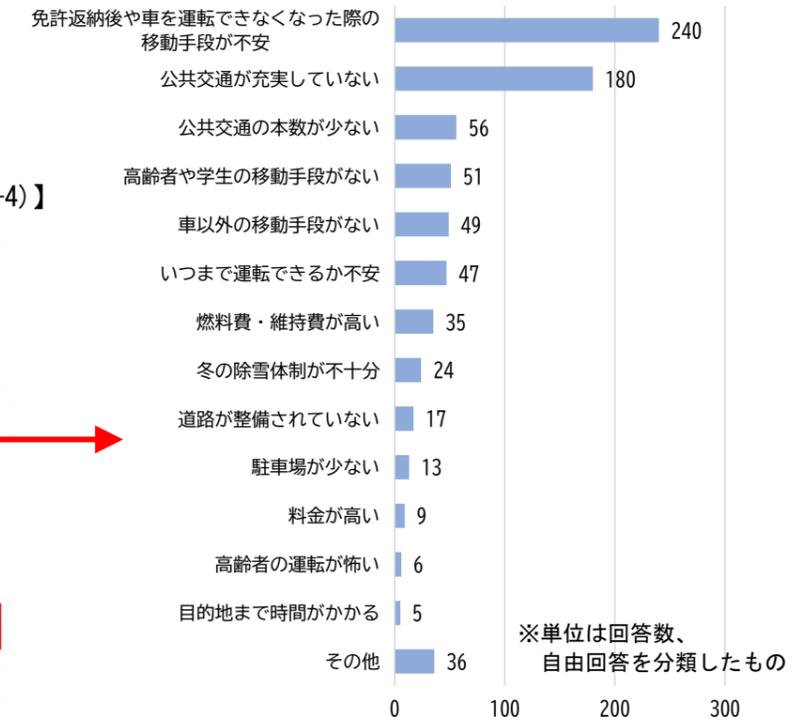
【住みよいとを感じる理由(問2-3)】



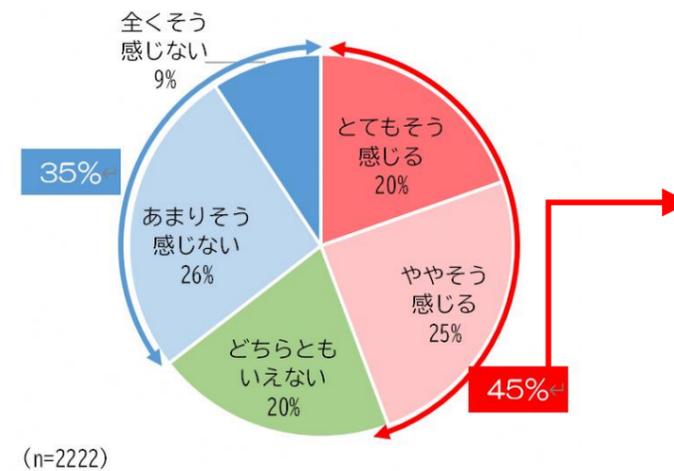
3. 移動・交通について

- ◆問題や課題を感じている回答者がやや多く、内訳として「車が運転できなくなった際の移動手段が不安」「公共交通が充実していない」の回答が多くを占める。

【移動手段に関する課題(問3-5)】

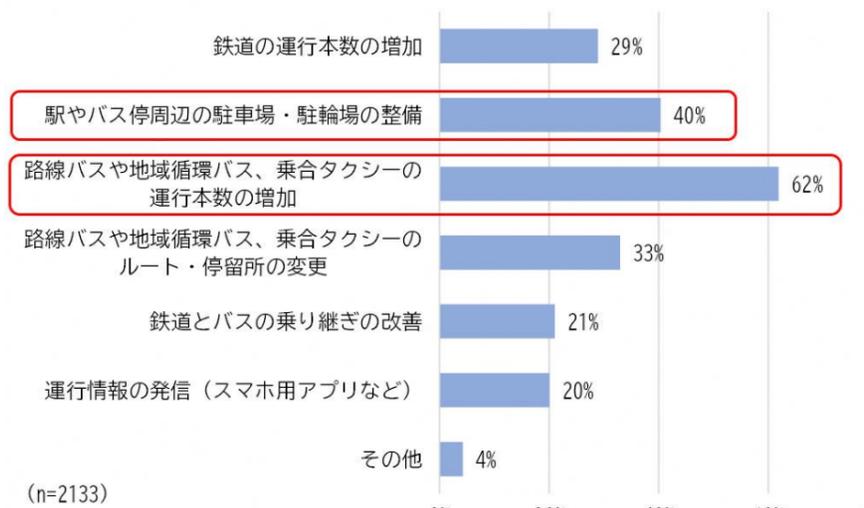


【現状の移動手段に問題や課題を感じるか(問3-4)】



- ◆「路線バスや地域循環バス、乗合タクシーの運行本数の増加」が62%と最も多い。
- ◆次いで「駅やバス停周辺の駐車場・駐輪場の整備」が40%と続く。

【公共交通への要望(問3-6)】

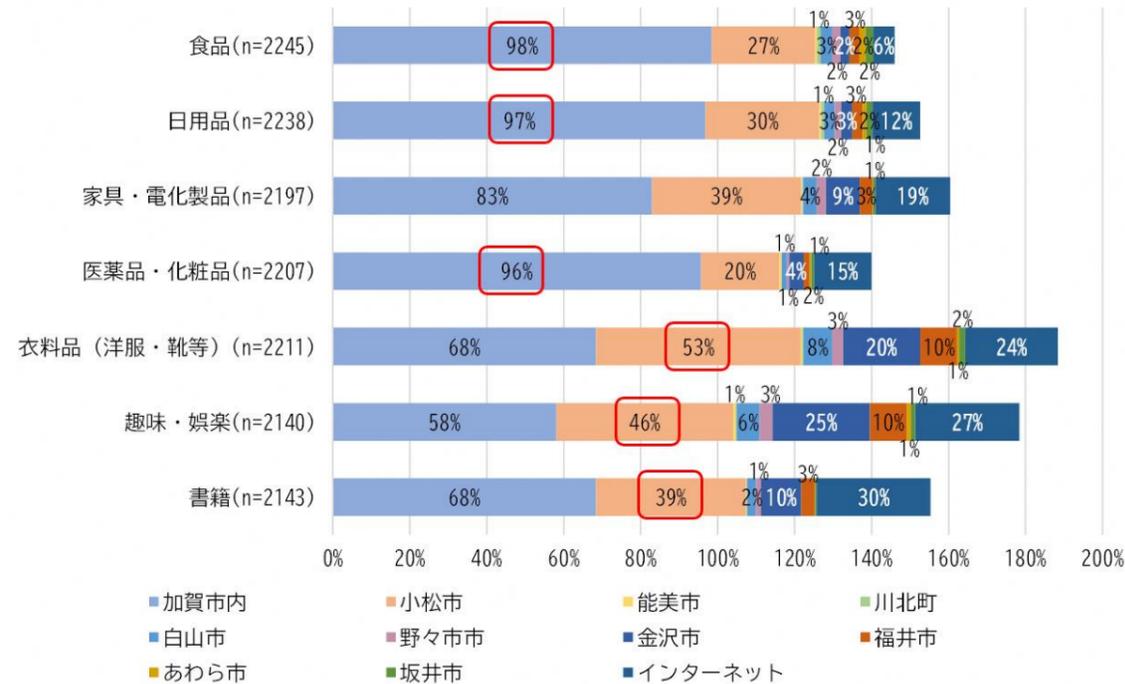


・公共交通に関しては評価がやや低い。運行本数の増加などが求められている。

4. 買い物について

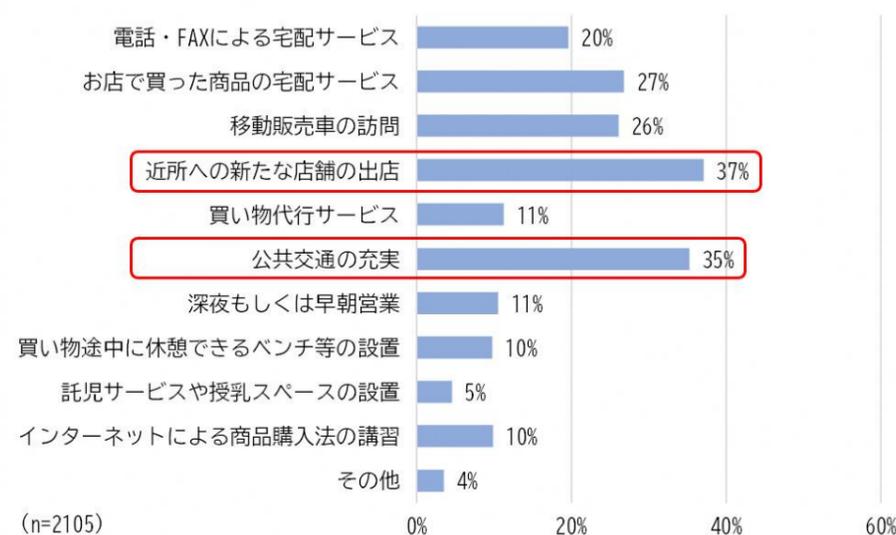
- ◆食品、日用品、医薬品・化粧品は「加賀市内」が96%以上とほとんどとなっている。
- ◆衣料品、趣味・娯楽、書籍は「加賀市内」の割合がやや低くなり、「小松市」の割合がやや高くなる。

【各用品の購入先(問4-3)】



- ◆「近所への新たな店舗の出店」が37%と最も多く、次いで「公共交通の充実」が35%と多い。

【より良い買い物環境に必要なもの(問4-4)】

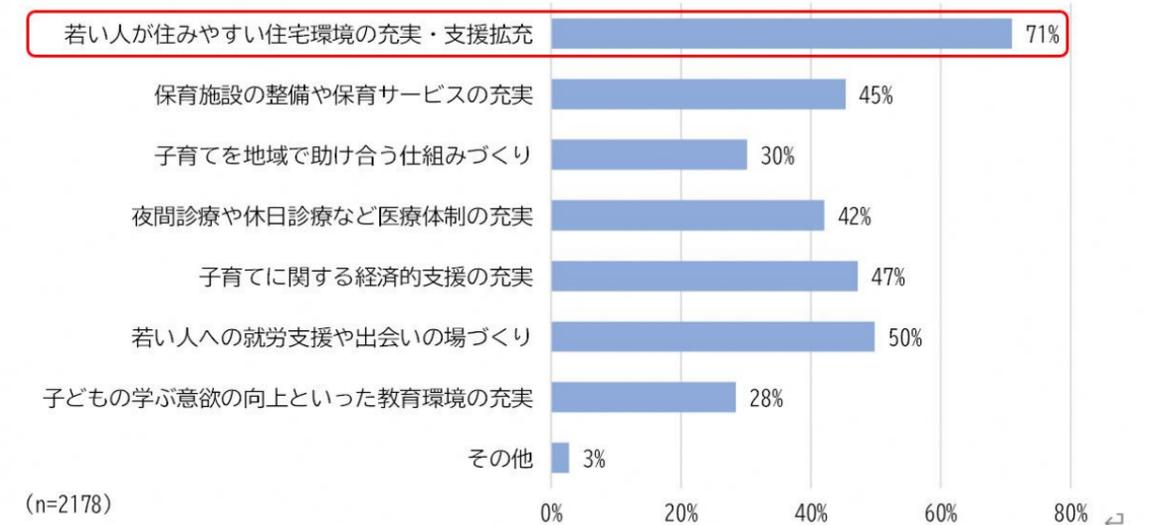


- ・日常的な買い物は加賀市内で購入されている。
- ・居住地の近隣での買い物ができる環境や、公共交通の充実が求められている状況。

5. 少子化対策、高齢者支援について

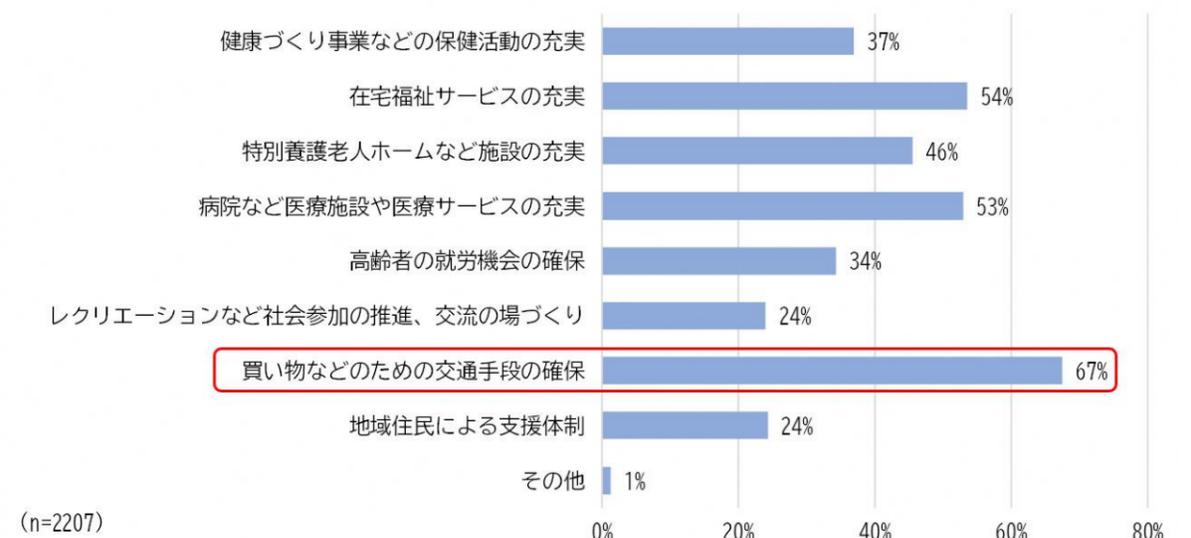
- ◆「若い人が住みやすい住宅環境の充実・支援拡充」が71%と最も多い。

【少子化対策のための重要な取り組み(問7-3)】



- ◆「買い物などのための交通手段の確保」が67%と最も多い。

【高齢者支援のための重要な取り組み(問7-4)】

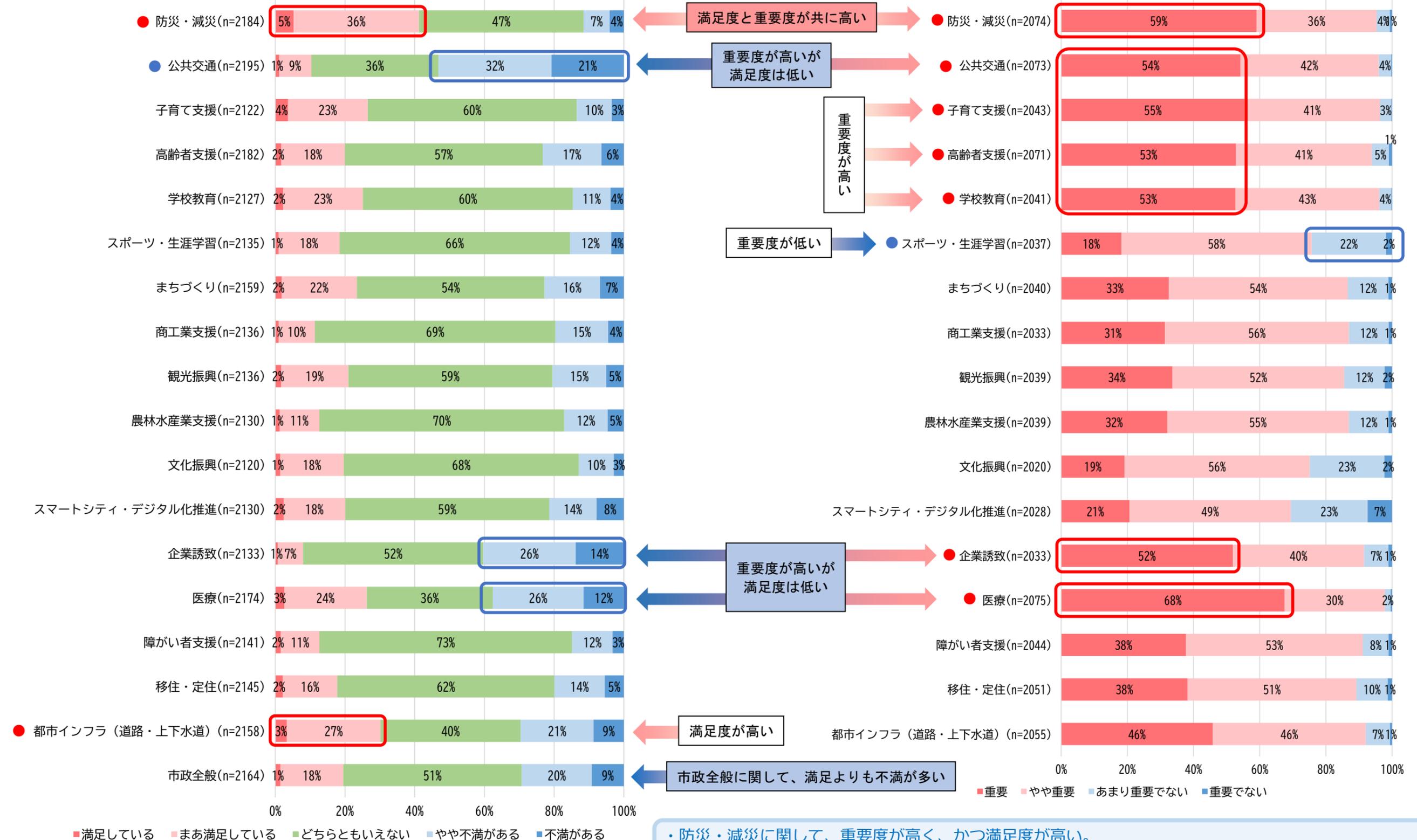


- ・少子化対策として住環境の充実（定住促進）、高齢者支援としては交通手段が挙げられている。
- ・子育て支援や高齢者福祉などの直接的な行政サービスとは別に、これらの施策の充実が求められていることがうかがえる。

6. 市の取組みに対する満足度、重要度

【加賀市の取組みに対する満足度(問 7-5)】

【加賀市の取組みに対する重要度(問 7-5)】



・防災・減災に関して、重要度が高く、かつ満足度が高い。
 ・都市インフラについては、満足度がやや高い。
 ・一方で公共交通、医療、企業誘致に関して、重要度が高いものの満足度が低く、改善の必要性が高い。